

油圧プレス 20トン

取扱説明書

品番 UPA-20

【※ ご使用前に必ずご一読ください ※】

この度は、KIKAIYA「油圧プレス 20トン」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

- * この取扱説明書は、商品の正しい使い方やメンテナンス方法、使用上の注意について記載しております。
- * 本書を最後まで必ずお読みいただき、商品を正しく取り付し、お使いください。
- * 本書が必要になったとき、すぐ利用できるように大切に保管してください。



コバヤシデンソー株式会社

〒720-0843 広島県福山市赤坂町赤坂 1415-3

(MAIL) info@kikaiya.com

■調査及び修理をご依頼の前に

* 故障とお考えの前に、弊社までご相談ください。

改造により故障及び損傷した場合は修理対応できませんのでご注意ください。

* 調査を依頼される際の送料は、お客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

■開封時

開封したらすぐに中身を確認してください。

付属品の欠品、破損、初期不良等がございましたらすぐに販売店にご連絡ください。

※商品は到着しましたら7日以内に必ず開封して中身をご確認ください

■圧力ゲージについて

※ 圧力オイルが入った状態でお届け致します。

※ 圧力ゲージ内にオイルが入っている状態が正常です。

(右画像参照)



(図1)

■組立上の注意

1. 【油圧ホースつなぎ込み時】

メクラキャップを外し、油圧ホースを取り付けます。

2. 【メーター取り付部分】

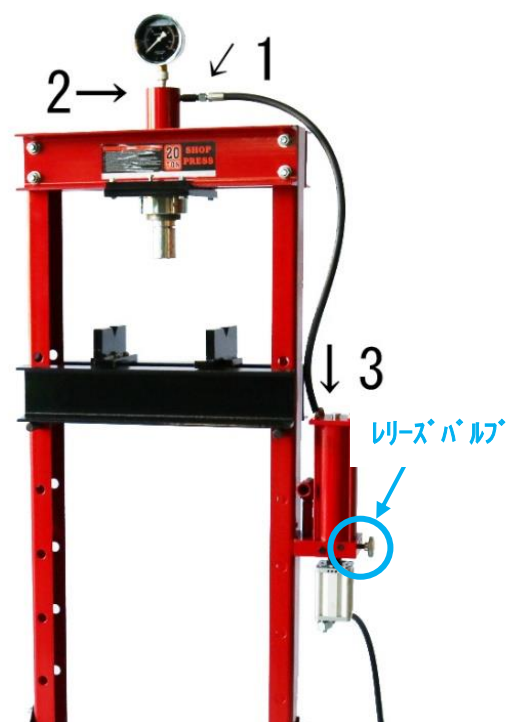
メクラキャップを外して油圧ゲージを取り付けます。

3. 【ポンプ部分】

ポンプを取付けた後にオイルタンク上面の通気口(オイル注入口)のねじを少し緩めてください。

※オイル(作動油)の補給について

オイルを補充する場合は、本体写真3番よりオイルを入れすぎに注意して適量を注入してください。(オイルは32番)



(図2)

■使用上の注意

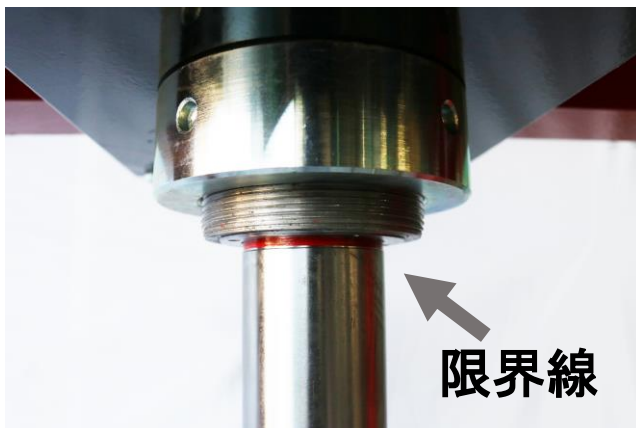
【ご使用前に】

油圧ホース・油圧ゲージのチャックネジが確実に締まっている事を確認してください。

- 初期的にポンプがエア噛みをしてオイルを送らない事があります。
- ※ **ご使用前にエア抜き作業を行ってください！！**

- 油圧シリンダーのストローク部分には**限界線(赤線)**が引いてあります。
限界線を超えた状態で圧力を上げないでください！！
- ※ **シリンダー内部のストッパーが変形してロッドが戻らなくなる恐れがあります。**

- エアポンプ駆動時間**約1時間毎**にエア接続口より**作動油を2cc程注入**してください。エアポンプ内部にオイルが入り、動きが良くなります。



■エア抜き

1. リーズバルブ②を緩めた状態でエアポンプを数秒動かします。
2. 通常どおりリリースバルブ②を閉めてポンプを動かします。
3. 上記を2～3回繰り返すとエアが抜け、シリンダーが動きます。
(図2 参照)

■ パーツリスト・分解図

| 番号 | 名称 | 個数 |
|----|------------|----|
| 1 | 圧力計 | 1 |
| 3 | ラム | 1 |
| 4 | 丸ナット | 1 |
| 5 | カップリング | 1 |
| 6 | 上部クロスビーム | 2 |
| 7 | ボルト M14×30 | 8 |
| 8 | プレスブロック | 2 |
| 9 | ポスト | 2 |
| 10 | ワッシャー M14 | 8 |
| 11 | ナット M14 | 8 |
| 12 | ロッド | 2 |
| 13 | ベース部 | 2 |
| 14 | ナット M12 | 4 |
| 15 | ワッシャー M12 | 4 |
| 16 | クロスメンバー | 1 |
| 17 | ボルト M12×30 | 4 |
| 18 | ボルト M12×20 | 2 |
| 19 | ブロック | 2 |
| 20 | 下部丸ナット | 1 |
| 21 | 下部プレート | 1 |
| 22 | ボルト | 4 |
| 23 | ボルト | 2 |
| 24 | ホース | 1 |
| 25 | ポンプ | 1 |
| 30 | ベッドフレーム | 1 |
| 31 | ボルト M10×25 | 8 |
| 32 | ナット M10 | 8 |
| 33 | ワッシャー M10 | 16 |
| 34 | サポートバー | 4 |

